

# 平成23年度当初予算の概要

平成23年度予算が、平成23年第1回町議会定例会で可決され、一般会計など6つの会計が執行されることとなりました。平成23年度当初予算の概要を次のとおり紹介します。

東川町の平成23年度予算は、一般会計が46億3,500万円で前年度比較2億2,900万円、4.71%減、特別会計総額では5億4,174万9千円で前年度比較2,413万円、4.66%増となり、一般会計と特別会計の合計では51億7,674万9千円(前年度比較2億487万円、3.81%減)となりました。

- 一般会計 税金などを主な収入とする町の基本的な事業予算
- 特別会計 下水道等の使用料など、特定の収入で行う事業予算

## ■一般会計・特別会計当初予算額

単位:千円

会計区分	本年度	前年度	伸び率%
一般会計	4,635,000	4,864,000	▲ 4.71
国民健康保険	207	219	▲ 5.48
簡易水道事業	39,900	41,800	▲ 4.55
公共下水道事業	183,200	141,300	29.65
国保町立診療所	318,442	322,200	▲ 1.17
宅地造成事業	0	12,100	▲ 100.00
特別会計(合計)	541,749	517,619	4.66
総合計	5,176,749	5,381,619	▲ 3.81

## ■一般会計における予算の特徴

平成23年度の一般会計予算は、町長選挙の年であるため、骨格予算での編成になっています。

平成23年度の当初予算は、46億3,500万円であり、平成22年度の予算額と比べますと、2億2,900万円、4.71%減の骨格予算となりました。

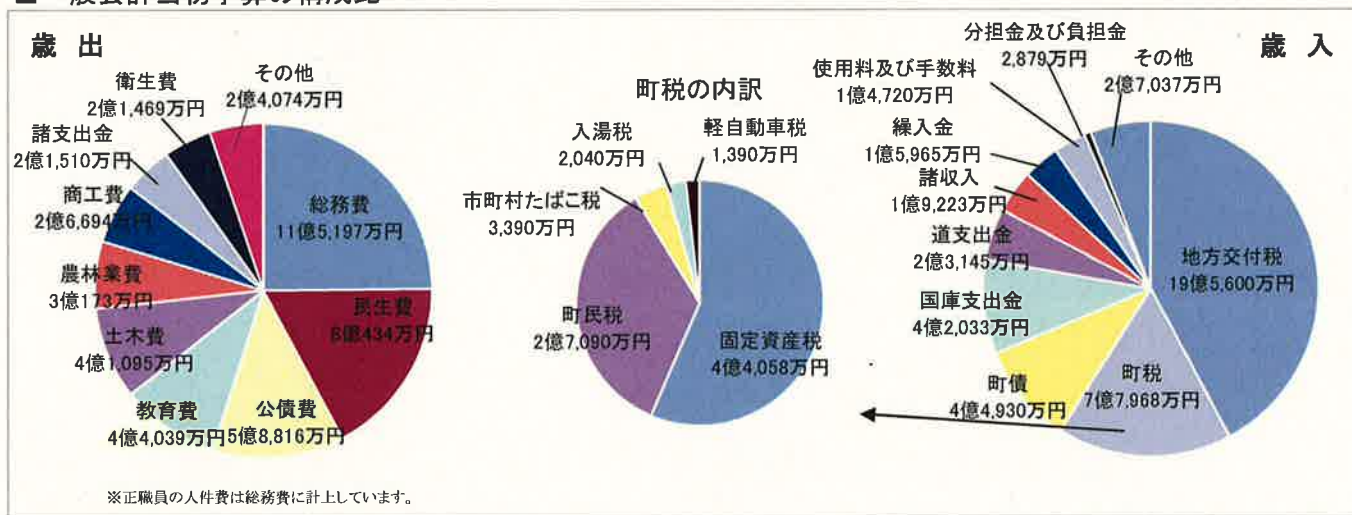
予算編成では、「新まちづくり計画プライムタウン21-1」の4年度目にあたり、実施計画に沿った事業の展開を図ることとし、「東川町新行財政改革大綱(自主・自立集中改革プラン)」による事業計画や事業の見直し・効率化を進め、財源確保に努めました。

地方交付税は、地方財政計画では2.8%の増額となっていますが、ほぼ同額を計上しており、平成22年度決定額と比較すると96,667万円、5.2%の減で予算措置しています。

投資的事業では、継続事業を中心に計上したことから、対前年比で▲3億3,724万円、▲40.93%となったが、国・道補助金や平成22年度に計画が認定された辺地地区における辺地対策事業債を充当するなど特定財源の確保に努めました。

また、ソフト事業では、「写真の町」ひがしかわ株主事業、少子・高齢化、母子保健事業の充実、英語教育の充実を図ることに重点をおいた事業費を計上しています。

## ■一般会計当初予算の構成比



## ■平成22年度の主な投資事業

### 【投資的事業】

- ・第三地区地域センター外構工事67,000(農山漁村活性化支援プロジェクト交付金)
- ・第三地区地域センター体験農場整備工事28,000(農山漁村活性化支援プロジェクト交付金)
- ・林業体験施設作業道整備工事53,000(農山漁村活性化支援プロジェクト交付金)
- ・西10号道路改良事業81,600(社会資本整備総合交付金)
- ・道道旭川旭岳温泉線防犯灯設置事業35,760(社会資本整備総合交付金)
- ・合併処理浄化槽設置整備事業7,500
- ・キトウシ森林公園駐車場整備事業87,000(社会資本整備総合交付金)
- ・公営住宅等整備事業15,126(社会資本整備総合交付金)
- ・草刈機械購入事業(電源立地交付金)8,949

# 東川町の財政を家計にたとえると…

平成22年度の町の予算は48億6,400万円(一般会計)となりましたが、「合計額のケタが大きくて実感がわかない。」「財政用語が分かりにくい。」という声をよく耳にします。

そこで、家庭の家計と町の財政では仕組みが違いますが、分かりやすく説明するために町の予算額を家庭収入100万円に置き換えた家計簿で資料を作成してみました。

町の会計は、一般会計、特別会計に分けられていますが、ここでは平成22年度一般会計の当初予算を家計簿に置き換えて説明したいと思います。

## 東川町の家計簿

(参考)  
昨年度数

### 収入

給料(町税・地方交付税)	57万円
パート収入(使用料・手数料など)	8万円
親からの仕送り(国からの補助金など)	19万円
借金(町債)	14万円
貯金の解約(繰入金) ※1	1万円
財産(土地や家)の貸付など(財産収入)	1万円
<b>合計</b>	<b>100万円</b>

**家族全員の収入  
65万円**

70万円

**家族全員の収入  
+ 親からの仕送り  
84万円**

85万円

※1 貯金の残高は462万円あります(平成21年度末の貯金残高見込を100万円に置き換えた数字)

### 支出

食費(人件費)	18万円
家族の医療費(乳幼児医療費などの扶助費)	6万円
光熱水費、被服費、その他雑費(消耗品費・燃料費・通信運搬費など)	33万円
車や家具の修理代(維持補修費)	1万円
子供たちへの仕送り(特別会計への繰出金、広域連合への負担)	10万円
借金の返済(住宅ローンの返済などによる町債費) ※2	12万円
家の増改築(公営住宅建設、道路整備など)	17万円
貸付金(貸付金)	1万円
貯金	2万円
<b>合計</b>	<b>100万円</b>

**生活費68万円**

67万円

**生活費 + 借金返済**

80万円

**財産づくり**

19万円

**親戚などへの支援**

1万円

※2 借金の残額は1,106万円あります(平成21年度末の借金残高見込を100万円に置き換えた数字)

収入の柱は給料の57万円とパートの8万円、それと親からの仕送り19万円です。支出は日々の生活費として68万円、住宅ローンの返済などに12万円、家の増改築費に17万円かかっています。

### ■資料■ 平成21年度末基金(貯金)と町債(借金)残高見込

基金		町債	
百万円		百万円	
<b>一般会計</b>		<b>一般会計</b>	
財政調整基金	367	365	
減債基金	206	206	
公共施設整備基金	503	537	
ふるさと創生事業基金	112	111	
地域振興基金	95	95	
地域福祉基金	341	346	
写真の町文化基金	127	127	
未来を拓くみんなの夢基金	200	200	
総合体育館建設基金	16	16	
「写真の町」ひがしかわ株主基金	9	10	
小西健二奨学基金	30	-	
<b>小計</b>	<b>2,006</b>	<b>2,013</b>	
土地開発基金	164	164	
備荒資金	78	78	
<b>一般会計合計</b>	<b>2,248</b>	<b>2,255</b>	
<b>特別会計</b>		<b>特別会計</b>	
公共下水、診療所	1	9	
		<b>建物(公営住宅除く)、道路の整備などに借りたもの</b>	
		(H20末)	
		平成21年度末残高見込	2,448
		うち国の交付税で補てんされる金額	▲ 802
		<b>差引残高(町が負担する額)</b>	<b>1,646</b>
		<b>財源不足を補うために借りたもの(臨時財政対策債など)</b>	
		平成21年度末残高見込	1,554
		※全額が国の交付税で補てん	
		<b>公営住宅の建設のため借りたもの(入居者の負担を基本)</b>	
		平成21年度末残高見込	1,380
		<b>特別会計</b>	
		簡易水道事業分	509
		下水道事業分	968
		診療所分	501
		宅地造成事業分	17
		うち国の交付税で補てんされる金額	▲ 871
		<b>差引残高(町と受益者の負担額)</b>	<b>1,124</b>